

仕 様 書

件 名：令和7年度沖縄県漁業調査船「囷南丸」合入渠

1 目 的

船体入渠のうえ、仕様書明細に基づき船体・機関及び補助機関等について修理調整を行い、安全運航を可能とさせる。

2 引渡期限

令和8年2月27日（金）とする。また入渠日は令和8年2月2日（月）以降とする。

3 引き渡し場所

対象船舶（「囷南丸」）の引き渡し及び引き取り場所は造船所岸壁とする。

4 工事内容

別 紙（甲板部、機関部仕様書）

5 検 査

本契約の完了検査は、契約完了後実施するものとする。ただし、完了後に確認できない箇所については、実施中に行うものとする。

6 その他

- （1）本契約は、本仕様書に基づき監督職員の指示監督に従い、誠意をもって実施するものとする。
- （2）本仕様書及び実施方法等に疑義が生じた場合は、監督職員と協議しその指示に従うものとする。
- （3）請負人は、本契約に係る一切の業務を監督するとともに、災害事故の防止に十分に留意し必要な対策を講じるものとする。
- （4）請負人は、ドック工事完了後、船体全水洗い、船内外及び機関室、機関制御室に於いては保護用シート等取り外し後清掃・復旧するものとする。
- （5）本入渠に係る糸満漁港、ドック間の往復燃料代は、ドック負担とする。

令和7年度「函南丸」合入渠仕様書(甲板部)

沖縄県漁業調査船「函南丸」尺度 44.30×7.60×3.25 222G/T 航行区域(乙)

番号	修繕項目	備考
1	船体上下架(一式) ※ポンプジェット・各送受波器が船底タンク部にあるため架台調整要	要写真
2	船体カキ落とし清水洗い ※ADCP送受波器要養生	要写真
	高圧清水洗い ※船底の暴露している送受波器面はスポンジタワシ清掃後要養生 送受波器ドーム側面ガット開放、内部清水洗い ※内部スポンジタワシ等で清掃・塗装・復旧まで	
3	居住区内主要部養生(通路、サロン、ギャレー等)、暴露甲板部主要通路養生、ドック終了時撤去・清掃。	要写真
4	船体塗装工事(船底、外舷、舵板、水線、舷側、船名、アンカー等)	要写真
	発錆部錆打ちおよびサンダー掛け ※両アンカーはドック底まで繰り出す事 錆打ち箇所バンノー1500RZタッチアップ(上塗りとは異なる色で3回塗り以上) ブルワークトップから外板及び船側・船底までオールオーバー塗装2回、アンカー1回塗装、文字・記号黒塗装 使用塗料(中国塗料株式会社製) ○OT/U : バンノー1500RZ(エポキシ用シンナーA) ○外舷部 : ユニマリン上塗、白、黒等(ウレタン用シンナーA) ○錨部 : ガルバナイトNo.400プライマー、ユニマリン上塗り黒(ウレタン用シンナーA) ○水線部 : シープレミア1000PLUS(塩ゴム/アクリ用シンナーA) ○船底部 : シープレミア1000PLUS(塩ゴム/アクリ用シンナーA)	※垂鉛メッキされているためテスト塗装
5	内舷部、甲板、甲板構造物塗装(マスト、船橋・居住区外板、右舷全通通路、甲板機械、煙突、エア抜き等)	要写真
	デッキ部ゴム板撤去・陸上にて保管(番号等で設置位置等管理すること) 発錆部錆打ちおよびサンダー掛け 錆打ち箇所バンノー1500RZタッチアップ(上塗りとは異なる色で3回塗り以上) 上塗り全塗装1回 デッキ部ゴム板設置(既存の位置に再設置) 使用塗料(中国塗料株式会社製) ○OT/U : バンノー1500RZ(エポキシ用シンナーA) ○使用塗料 : ユニマリン上塗、白、グレー(N-5)、黒・黄・赤・青・緑等各色(ウレタン用シンナーA)	※諸文字塗装含む
6	シーチェストストレーナー開放・内部清掃・塗装・サンダー掛け・垂鉛板取替え・組付け	要写真
	開放 清掃・サンダー掛け 塗装(プライマー塗り3回以上:バンノー1500RZ、上塗り2回以上:シープレミア1000PLUS) 垂鉛板取替:ストレーナー3箇所、垂鉛板(下記のとおり)	
7	船底保護垂鉛取替(合計43枚)	要写真
-1	取替部品:垂鉛板8F(22枚)・4F(17枚) 取替位置:船尾・舵(16枚)、キール(12枚)、シーチェスト(7枚)、ポンプジェット(4枚)	
-2	取替部品:ZAP-AEL B-1/2(4枚) 取替位置:全周ソナー繰り出し後の指定箇所	
8	清水タンク(F.P.T.含む)開放、清掃、必要箇所タッチアップ、復旧	要写真
	発錆部錆打ちおよびサンダー掛け 錆打ち箇所および監督員指定箇所タッチアップ3回塗り以上 使用塗料(中国塗料株式会社製) 修繕用クリーンキープ(ブルー色) 各タンク容積 F.P.T. 8.82㎡、F.W.T.(P) 10.88㎡、F.W.T.(C) 12.94㎡、F.W.T.(S) 10.88㎡	※タンク内はクリーム色が全塗装されています。

	※塗膜硬化後タンク内清掃し清水満載。5日以上放置。その後全排水し再度清水満載。	
9	船首楼右舷LED作業灯(LFD-160F1-S)をラインホーラー真上のハンドレールへ移設 (ハンドレールSUS仕様のため部材はSUSを使用)	要写真
10	送受波器ドーム部、ADCPおよび古野電機分の受波器側面ガット蓋溶接(4枚) 開放後、内部状況確認。内部清掃、塗装後に溶接。水密を確保すること。	要写真
11	往復燃料代	ドック負担

※ 入渠に係る本船甲板部支給品はありません。すべて、ドック支給品でまかなうこととする。

※ 塗装工程注意事項（塗装面にミストが乗りザラザラ仕上げとならないように工夫して施工すること）

①ハンドレール・パイプ類は必ず刷毛塗り

②その他ローラー刷毛使用の場合は毛足の短いもののみ使用

※ ADCP送受波器の船底蓋は本船にて開放、復旧（塗装前の養生はドックにておこなう）。六角レンチ6mm使用。

※ 入渠に係る糸満漁港、ドック間の往復燃料代はドック負担とする。

※ 入渠に係る乗組員の宿泊が必要な場合、その費用は沖縄県負担とする。

令和7年度「函南丸」合入渠(機関部)

※修理に付随する部品及びパッキン等の消耗品その他は造船所手配支給とします。

※本船側にて支給する部品等は本船支給と明記

	主機関	チェック	備考
1	シリンダカバー及びカバー付き諸弁開放点検		要写真
-1	カバー取外し陸揚げ解放掃除点検		
-2	燃焼面、諸弁嵌合部カラーチェック		
-3	水路部薬品洗浄施行、組立積込み復旧一式		
-4	吸排気弁、始動弁、燃料弁、指圧器弁、開放掃除点検		
-5	取替部品		
	各種パッキン、Oリング、吸排気ガスケットパッキン、		
	ゴムジョイント、ヘッドガスケット、コッター(24個)、		
	弁、弁バネ、バネ受け、その他		
2	主機クランク室掃除点検潤滑油抜き取り内部掃除点検		要写真
-1	クランクドア開放残油抜き取り掃除点検復旧一式		
-2	取替部品		
	クランク室ドアガスケット(12枚)、その他		
3	主機LOサンプタンク潤滑油交換及び内部掃除点検		要写真
-1	マンホール(2カ所)開放残油抜き取り掃除点検		
-2	マンホール取付復旧		
-3	潤滑油マリンT-204 約3000ℓ(オイル本船支給)		
-4	取替部品		
	マンホールパッキン、その他		
	主機関連補機	チェック	備考
1	増速機潤滑油交換		要写真
-1	潤滑油マリンT-204 約22ℓ(オイル本船支給)		
-2	取替部品		
	各種パッキン、Oリング、その他		
	軸系、スラスト装置	チェック	備考
1	可変ピッチプロペラ		要写真
-1	プロペラガード取外し掃除塗装(船底塗料)		
-2	船尾軸保護アルミ取替(1組)		

	部品番号：396802120 (IHI原動機) D340d260T25 15キリP300 (提携先図番)		
-3	プロペラ掃除		
-4	プロペラ先翼塗装(中国塗料：ペラクリンセット)		
-5	グリス抜取り新替え (エピノックグリースAP(N)0) 約21kg		
-6	船尾管すきま計測		
-7	計測結果表提出(計測表本船様式)		
-8	取替部品		
	各種パッキン、Oリング、その他		
2	バウスラストポンプジェット		要写真
-1	インペラ及びシーチェスト内洗浄		
-2	取替部品		
	各種パッキン、Oリング、その他		
3	船尾管軸封装置海水入口バルブ新替え(SUS316)		要写真
-1	部品新替え組立て復旧一式		
-2	取替部品		
	各種パッキン、Oリング、その他		
	計測、その他	チェック	備考
1	主機海上試運転、各部点検調整一式		要写真

	主発電機関 (2基)	チェック	備考
1	シリンダカバー及びカバー付諸弁解放点検		要写真
	シリンダカバー取外し陸揚げ開放掃除点検		
	吸排気弁、燃料弁解放掃除点検		
	燃焼面及び諸弁嵌合部カラーチェック施行		
	水路部薬品洗浄施行、組立て積込み復旧一式		
	取替部品		
	弁レバー座金、ガスケット、Oリング		
	各種パッキン、ばね、ブッシュ、バルブローター		
	各種パッキン、Oリング、ステムシール		
	ノズルチップ、ノックピン、Oリング、各種パッキン		
	組立て後圧力調整、23.5±0.5MPa		
	その他部品		

2	クランク室掃除オイル取替 (2基) オイル90L×2基		要写真
	クランク室掃除		
	オイル取替復旧 (オイル本船支給)		

	補機及びポンプ類		
1	セントラルクーラー日坂製作所 (型式RX-135B-NPM-139) 1台		要写真
	薬品洗浄のみ		

	電気、その他	チェック	備考
1	機関監視盤、集合始動器盤、船内各分電盤計測点検増締		要写真
	絶縁抵抗測定		
2	海水ライン犠牲管解放点検		要写真
	必要な場合は作製新替え (9箇所)		
3	廃油タンク、船底ビルジ		要写真
	廃油処理、内部掃除 証明書発行		
	機関室船底ビルジ陸揚げ処理、掃除		
4	潤滑油搭載 (3200L)		要写真
	マリンT204 (本船支給)		
5	主機関LOミスト管 (1M-17) 作製、取付		
6	機関監視室階段船尾側手摺作製、取付 (取外し式)		
7	機関室上段手摺作製、取付 (中間パイプ径を太くする)		
8	潤滑油小出しタンク取出し管作製、取付 (径を太くする)		
9	OPCS用海水ポンプ吐出管模様替え		
10	減速機上部警報灯及びスピーカー位置変更		

11	餌庫用冷凍装置ドレン受拡張（サクシオンアキュムレーター下まで）		
12	船尾作業台下加工（工具場箱が入るように）		
13	主機（2コ）・発電機（4コ）煙突カバー作製		
14	機関室手洗加工（取外し式）		
15	清水膨張タンク足場取付		
16	合羽長靴置場靴箱作製		

	予備品注文	チェック	備考
1	アメロイド日本サービス製各種フィルター		
	主機潤滑油清浄機 YSフィルタ（型式27/108(YS-400)） 1セット		
	燃料清浄機用ROTフィルター（型式Type B） 1セット		
2	油水分離機 笹倉（型式RK-05）		
	SSフィルター 3コ・第2段コアレスサー 1コ		
3	主機関（IHI原動機 6 MG26HLX-5 N 1323KW750RPM）		
	TBフィルタリング 番号976982780 2コ		
4	主発電機関（ヤンマー 6 HAL 2-WDT 200KW 1,200RPM）		
	クリナ(プリ125X910 番号148616-18360 4コ		
	エレメントKIT(ジュンカツ 番号126650-35350 4セット		
5	主発電機（大洋電機 型式TWY-225KVA）		
	エアフィルター 番号GM414032 4セット		
	エアフィルター 番号GM411913-1 4セット		